

決算・経営説明会資料

2023年5月26日（金）

三菱製紙株式会社

- 1. 2023年3月期 決算概況**
2. 2024年3月期 業績予想

(単位：億円)

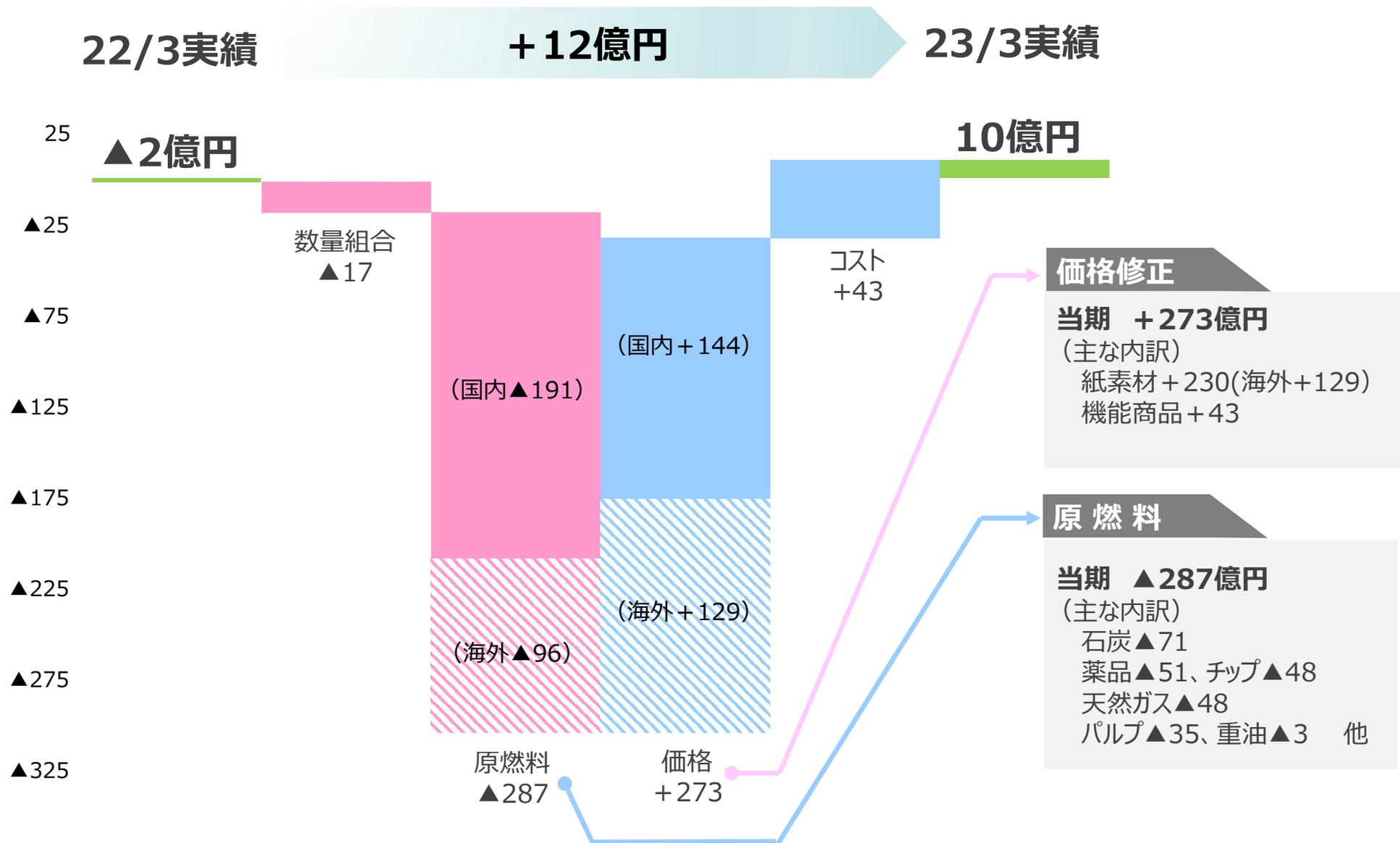
	2022年3月期 実績 (a)	2023年3月期 実績 (b)	増減 (b) - (a)	%
売上高	1,819	2,095	276	15.2%
営業利益	▲2	10	12	-
経常利益	20	31	11	57.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	11	▲6	▲17	-

(単位：億円)

	2022年3月期 (c)		2023年3月期 (d)		増減 (d) - (c)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
機能商品事業	502	30	594	42	92	12
紙素材事業	1,417	▲32	1,665	▲31	248	1
その他	70	1	53	1	▲17	0
消去	▲170	▲1	▲217	▲2	▲47	▲1
連結合計	1,819	▲2	2,095	10	276	12

➤ 原燃料価格の高騰分は価格改定及びコスト削減により吸収、黒字転換を達成

（単位：億円）



➤ ① 価格改定の取り組み(+273)：
紙素材製品を中心に事業継続に
必要な値上げを推進

	2022年1月以降の値上げ実施回数
印刷・情報用紙	3回
家庭紙・白板紙	2回
包装用紙	1回

等

➤ ② コストダウン取り組み(+43)：
あらゆる方面で徹底的な
コストダウンを実施

- ✓ 工場コストダウン……………+21
(歩留改善、安価材料活用他)
- ✓ 労務費削減……………+17
(希望退職他)
- ✓ 販売管理費削減……………+5
(製品在庫減による保管料減他)

等

➤ ③ その他構造改革：選択と集中による構造改革を推進

- ✓ 販売体制効率化：・ダイヤミック株式会社を三菱王子紙販売株式会社に統合し、販売代理店を1社に集約
- ✓ 組織合理化：・ドイツ事業フレンスブルク工場の事業売却を決定
 - ・北上ハイテクペーパー株式会社、北菱興業株式会社を当社に合併
 - ・八戸紙業株式会社、八菱興業株式会社をエム・ピー・エム・オペレーション株式会社に合併
 - ・セグメント変更 - 特殊機能を有する紙製品である情報・特殊紙製品（ドイツ事業を含む）を機能商品事業部へ移管、パルプからの一貫工場である北上工場製品を紙素材事業部へ移管
- ✓ 生産拠点集約：・白河事業所の耐熱プレスボード製造事業の高砂工場への移管を決定

<2023年3月期新旧セグメント比較>

（単位：億円）

- 2023年4月より以下のセグメント変更を実施
 - ✓ 機能商品事業：原紙への塗工により特殊な機能を持つ製品は機能商品事業部に集約し、更なる高付加価値化を図る。
 - ✓ 紙素材事業：パルプ一貫工場である八戸工場と北上工場を紙素材事業に集約し、パルプ・紙素材のポテンシャルを追求し、幅広い用途開拓を図る。
- 変更内容
 - ✓ 紙素材→機能商品：ドイツ事業を含む情報・特殊紙製品
 - ✓ 機能商品→紙素材：北上工場製品（写真用原紙他）

	2023年3月期 旧セグメント		2023年3月期 新セグメント	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
機能商品事業	594	42	1,100	32
紙素材事業	1,665	▲31	1,016	▲24
その他	53	1	53	1
消去	▲217	▲2	▲74	1
連結合計	2,095	10	2,095	10

<主要生産拠点セグメント>



1. 2023年3月期 決算概況
2. 2024年3月期 業績予想

(単位：億円)

	2023年3月期 実績 (e)	2024年3月期 予想 (f)	増減 (f) - (e)	%
売上高	2,095	2,200	105	5.0%
営業利益	10	60	50	519.6%
経常利益	31	65	34	110.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲6	40	46	-

2024年3月期業績予想 前提条件

〈前提条件〉

- 為替：135円/US\$
- 原油価格（ドバイ）：80US\$/バレル
- 石炭価格：200US\$/トン

〈感応度〉

- 為替：1円/US\$円安で1億円減益
- 原油価格（ドバイ）：1バレルあたり1US\$上昇で1億円減益
- 石炭価格：1トンあたり10US\$上昇で3億円減益

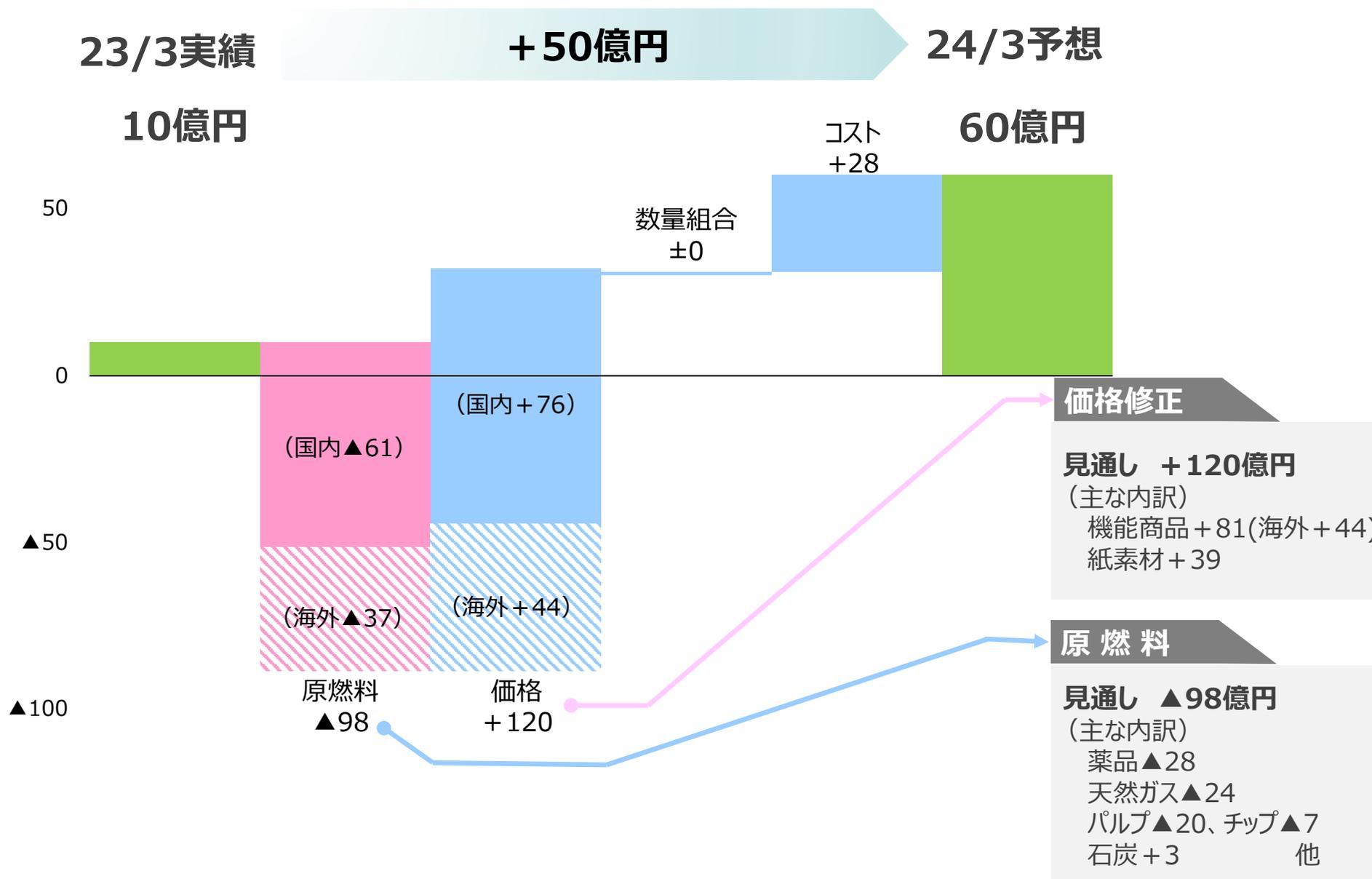
<新セグメント別>

(単位：億円)

	2023年3月期 (g)		2024年3月期 (h)		増減 (h) - (g)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
機能商品事業	1,100	32	1,150	42	50	10
紙素材事業	1,016	▲24	1,070	17	54	41
その他	53	1	50	1	▲3	0
消去	▲74	1	▲70	0	4	▲1
連結合計	2,095	10	2,200	60	105	50

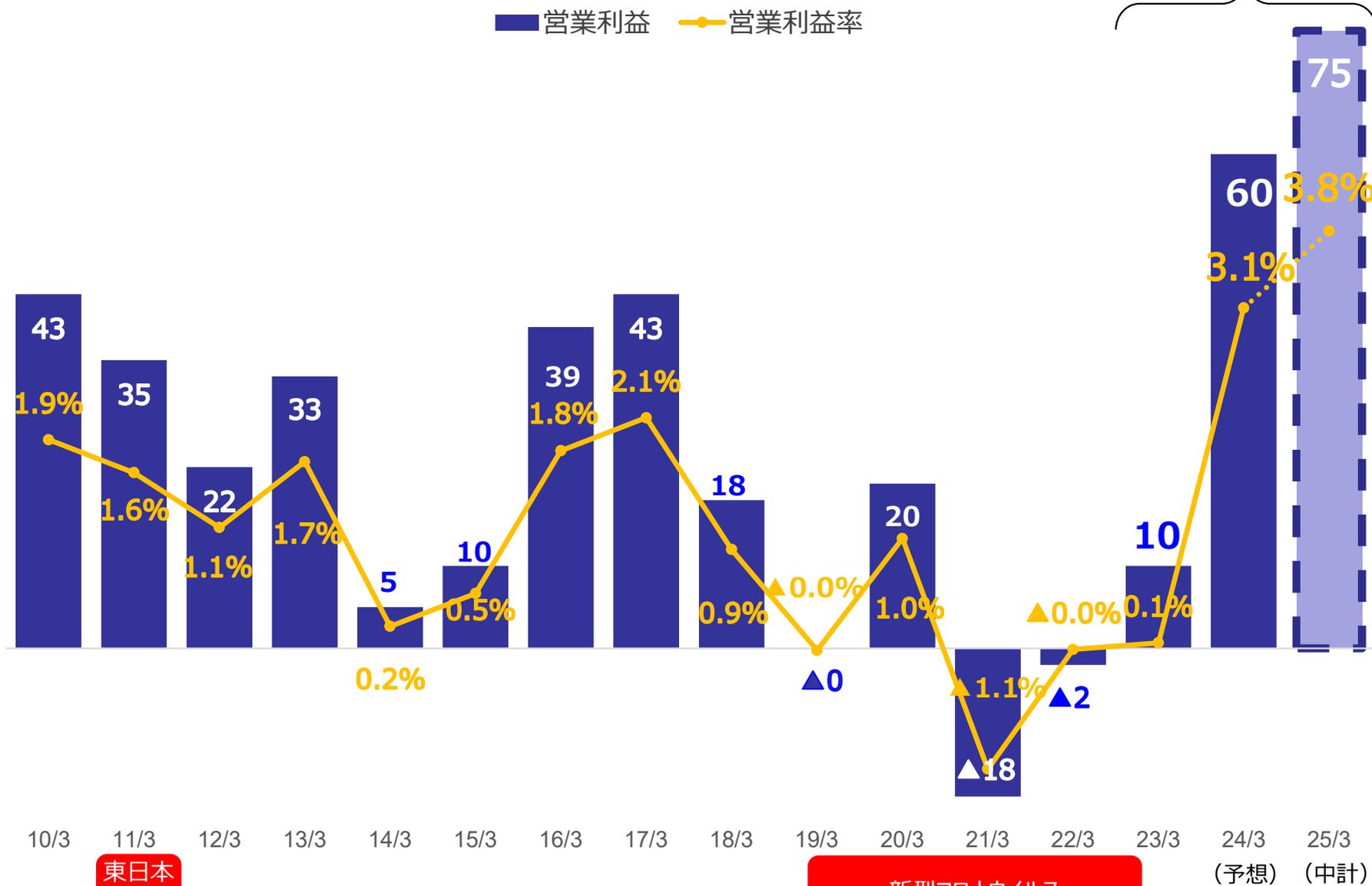
➤ 改定価格の維持により原材料価格アップをカバー、安定した収益体制を構築

（単位：億円）



(単位：億円)

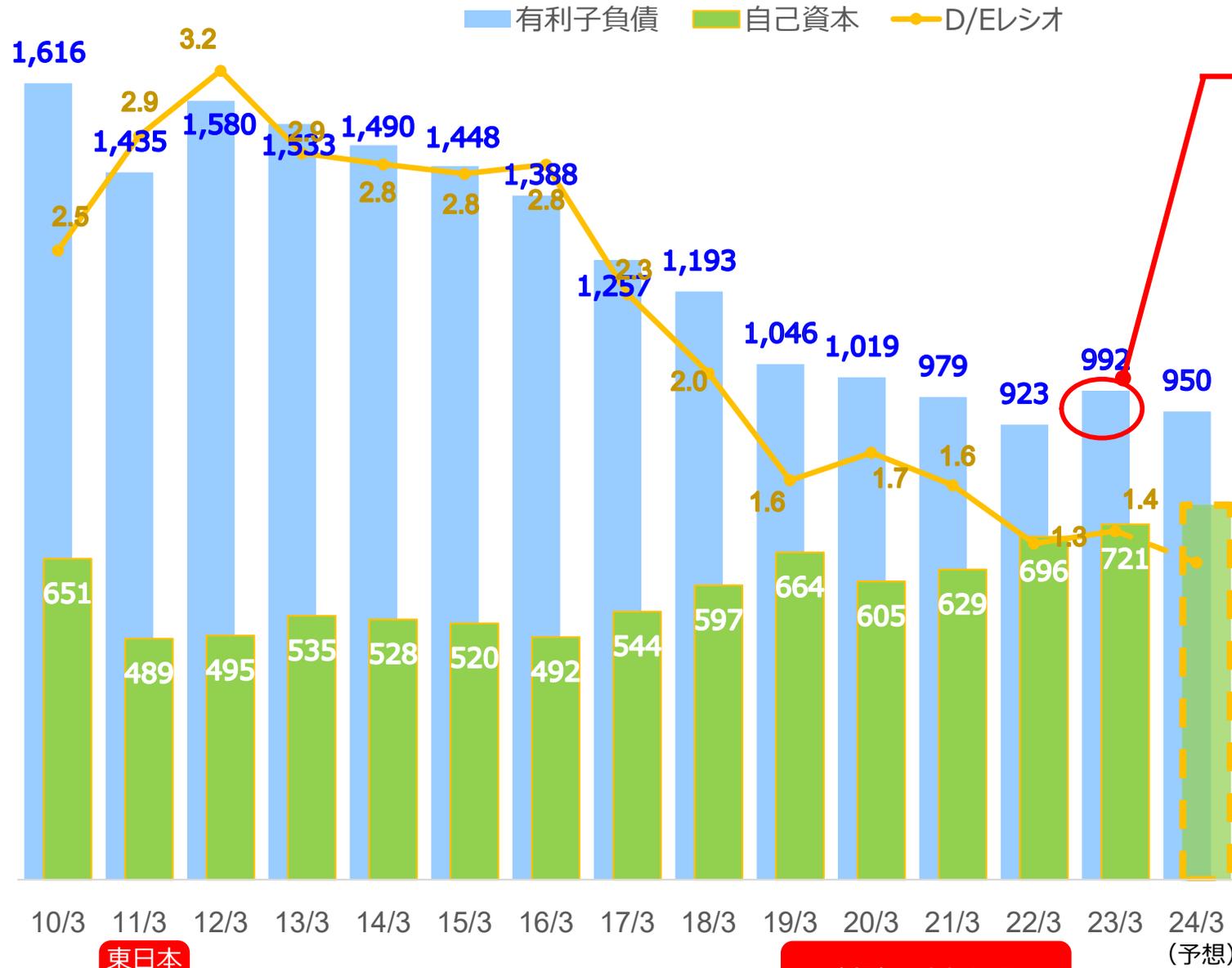
中期経営計画対象期間



東日本
大震災

新型コロナウイルス

(単位：億円)



増加要因
原燃料価格アップによる
運転資金の増加

東日本
大震災

新型コロナウイルス

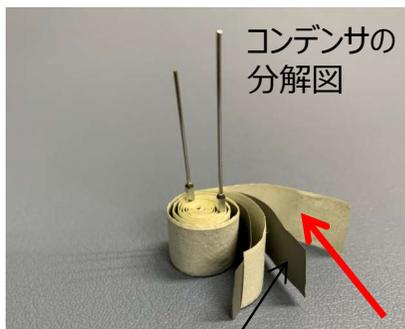
▶ エレクトロニクス関連分野の事業拡大

（数値：対2021年度成長率）

✓ バッテリーセパレータ

・自動車電装化・IT通信需要の伸長でEDLC・固体コンデンサ市場拡大

→ **新抄紙機稼働で更なる増産へ！**



電極

セパレータ：正負極の分離
電解液保持

セパレータ



✓ 電子工業材料

・情報・通信技術の高度化で電子部品の加工用途の規模拡大

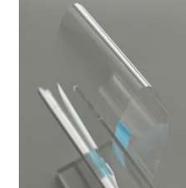
→ **感光材料で培った高い技術で
エレクトロニクス分野を拡大！**

ドライフィルムレジスト(DFR)を用いて加工した製品例

・半導体製造装置用
静電チャック



・スマホディスプレイ用
超薄ガラス(溝加工)

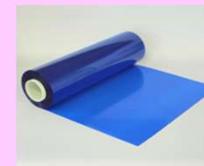


・燃料電池スタック用
バイポーラプレート



DFR (電子工業材料一例)

：部品加工時母材保護



機能性不織布事業の深化と拡大

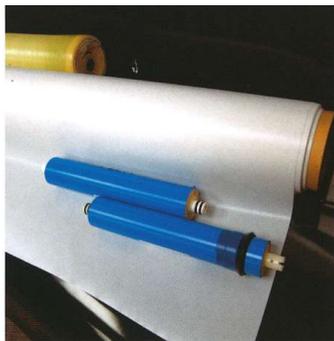
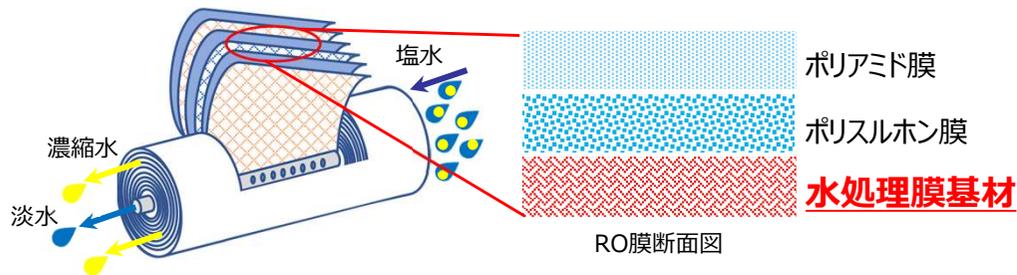
(数値：対2021年度成長率)

✓ 水処理膜基材

- ・海外の水ビジネス需要は堅調増加
- ・一方、中国市場はコロナ禍停滞

→ 中国市場の回復と**欧米向け拡販**で販売拡大！

RO膜：海水淡水化、水の清浄化



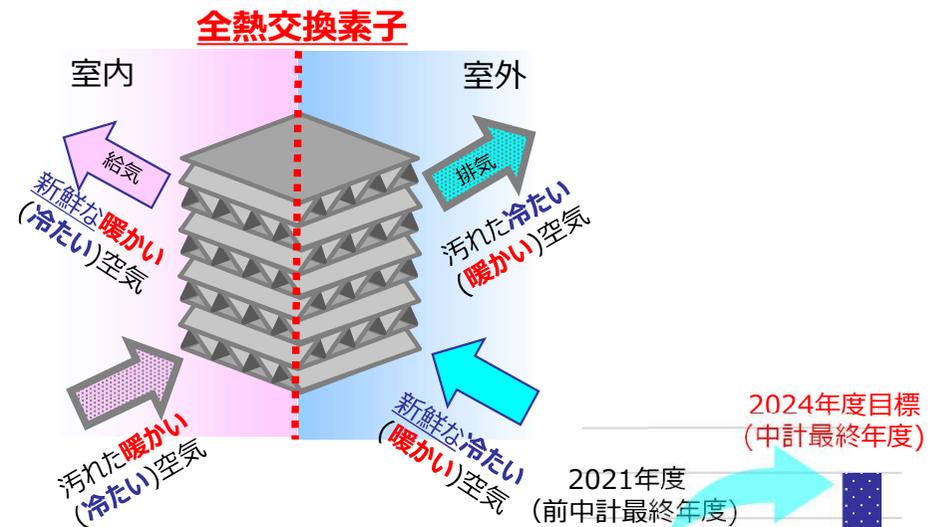
水処理膜基材
売上



✓ フィルター

- ・空気清浄機向けはコロナ需要反動減
- ・一方、換気及び省エネルギー需要は増加

→ 省エネ換気を実現する**全熱交換素子**を
欧米向け拡大！

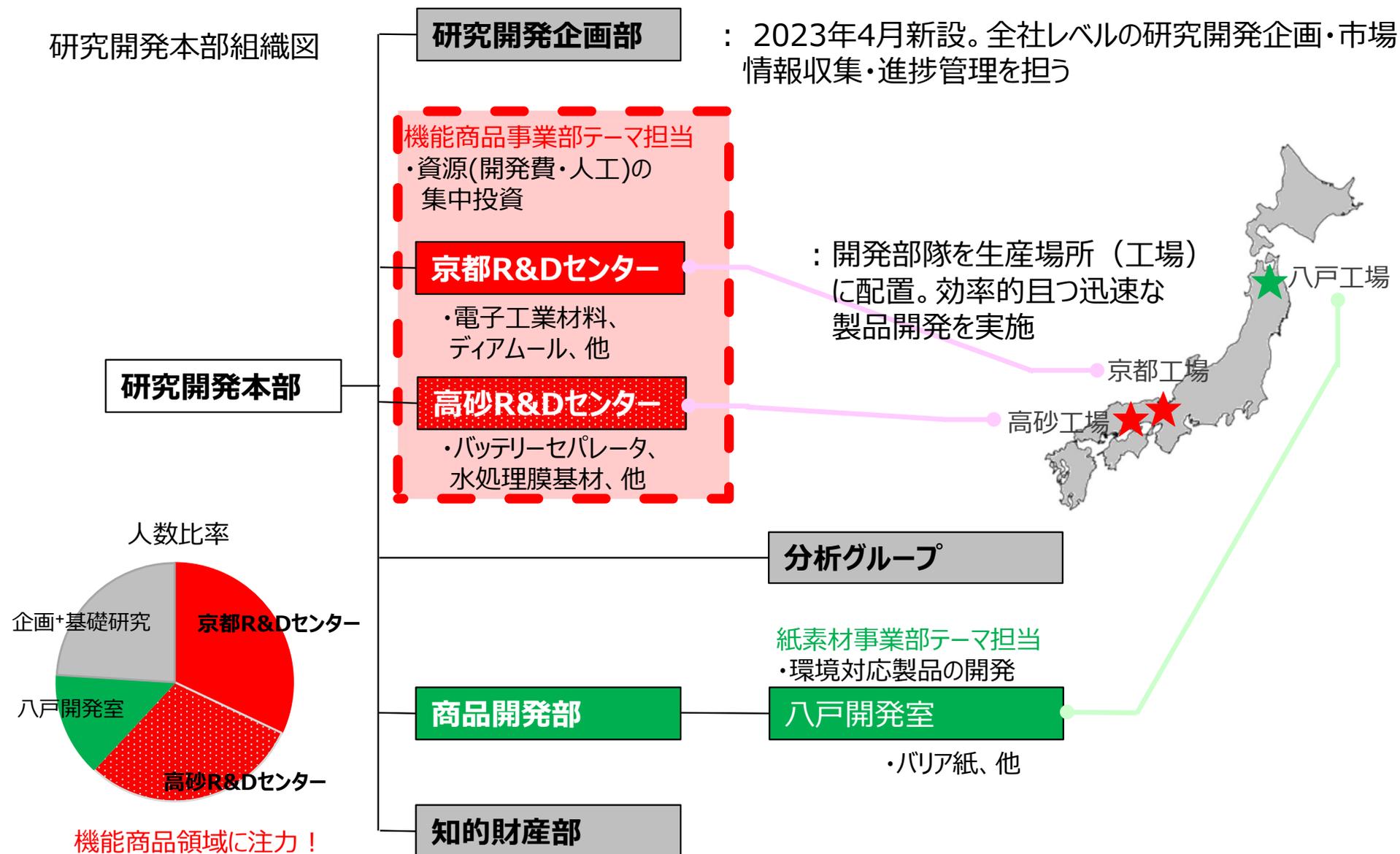


フィルター売上

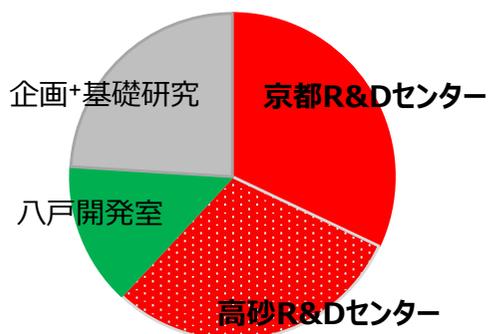


➤ 研究開発体制の充実

研究開発本部組織図



人数比率



機能商品領域に注力！

（数値：対2021年度成長率）

▶ 脱プラ・廃プラ、安全かつ快適なサステナブル社会の実現に貢献する製品の拡販

✓ バリア紙

- ・2022年4月施行の新プラスチック法により、『減プラ』『脱プラ』の動きが加速化
- ・プラスチック包装代替として採用進行

[当社品採用事例]



株式会社ロッテ DO Cacaoチョコレート



WPO (World Packaging Organization) 主催の「ワールドスターコンテスト2023」において「ワールドスター賞」受賞

✓ 紙ストロー

- ・プラスチックストロー代替として採用進行



✓ 凍結保存デバイス（ディアムール）

- ・生殖医療の発展に貢献する、研究用卵子・胚の凍結保存用デバイスとして採用進行



▶ グリーン社会に貢献する活動への取り組み

✓ カーボンニュートラル

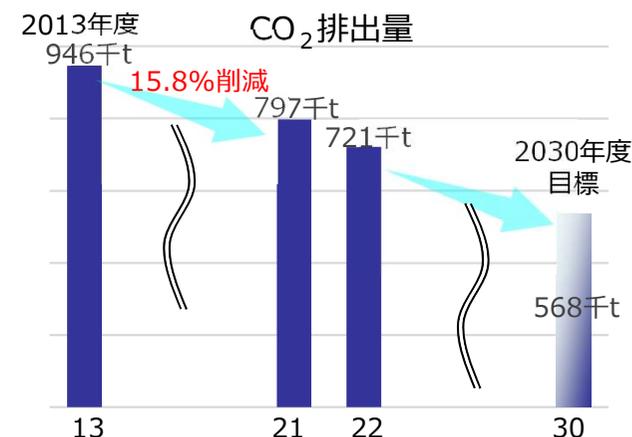
① CO2排出量削減

2030年度に2013年度対比で40%削減を目標

② 省エネ推進

前年比1%の省エネ推進

③ GXリーグへの参画決定



✓ TCFD :TCFD提言に沿った情報開示を実施

※TCFD:気候関連財務情報開示タスクフォース

✓ SDGs

① 生物多様性のための30 by 30アライアンスへの参加

② エコシステムアカデミーによる持続可能な社会づくりへの貢献

★エコシステムアカデミー水元が第57回東京都公園協会賞 奨励賞を受賞★

➤ その他重点施策

- ✓ 販社統合効果の最大化 : 三菱王子紙販売（株）を分野にかかわらず当社グループ製品の販売を担う唯一の販社として、グループ全体の販売を最適化
- ✓ 組織合理化の進行 : グループ会社再編を継続検討
- ✓ 非財務投資の充実 : キャリアアップ教育の充実（階層別研修、目標設定研修、課題解決研修、他）、ワークエンゲージメント向上

➤ サステナビリティ向上のための組織変革

- ✓ コーポレートガバナンス強化 : 常勤監査役の増員、ステークホルダーとの対話の充実
- ✓ ダイバーシティ&インクルージョン : 初の女性社外取締役候補、女性常勤監査役候補を選任、外国人採用の推進、営業要員確保による海外戦略強化、工場要員の派遣受け入れ
- ✓ 働き方改革の推進 : フリーアドレス導入による業務効率化、コミュニケーション活性化、在宅勤務制度・時差出勤制度導入によるワークライフバランス充実・生産性向上
- ✓ コンプライアンスの徹底 : 内部通報の実効性向上
- ✓ 社外発信の強化 : HP更新
YouTubeチャンネル「Greenwebcast」開設
<https://www.youtube.com/@greenwebcastmitsubishipape4678>

剰余金の配当等の決定に関する方針

- 株主への利益還元を経営の重要課題と位置づけ、各事業年度の業績と今後の経営諸施策に備えるための内部留保を勘案しながら、配当を安定的かつ継続的に実施することを基本方針とする

2023年3月期 期末配当及び2024年3月期 配当予想

- 2023年3月期については、上記方針に従い、配当を安定的かつ継続的に実施することと、直近の業績動向を総合的に勘案した結果、1株あたり**5円**の期末配当を実施予定
- 次期の配当については、年間で1株あたり**5円**を予定



本資料における予想数値や業績見通しに関する記述は、現時点における将来の経済環境予測や入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の実際の決算・業績数値とは異なる可能性があります。